



鹿屋市文化祭

昔

昭和48年(第2回)

第2回鹿屋市文化祭



今



それまで市内で別々に活動していた各種文化同好会を1つにまとめて、地域文化の振興を目的として市文化協会が発足したのは昭和47年。それから毎年秋の時期に文化祭が行われるようになりました。舞台発表や展示など、日頃の練習や研究の成果を披露する年1回の伝統は今も受け継がれ、鹿屋の文化を支えています。



昭和36年の第3回大会スタートの様子。まだ道路は舗装されておらず、木造の建物が立ち並ぶなど、昔の街並みが時代を感じさせます。

参加は小学生・中学生・一般にクラス分けされ、寒空の沿道で健脚を競います。これまでに道路交通事情から数回のコース変更がありました。現在のコースは串良ふれあいセンターからスタート

町民の体力向上と健康増進を目的に昭和33年から毎年開催されている「串良町内一周駅伝大会」は、串良町民体育大会などに並ぶ串良町の主な体育行事の一つ。冬の寒さがまだ厳しい2〜3月に行われるのが通例で、第9回大会からは建国記念日である2月11日に実施されるようになりました。

ふれあいセンターからスタートし、山下から平瀬へ北上し、細山田校区を通過して南下、辰喰から白山神社を抜けて下小原池公園を過ぎ、ゴールは串良総合支所前という13区間23.4km。多くの観戦者の声援を浴びながら各チームの選手が治線を駆け抜ける町内一周駅伝は毎年の恒例行事として冬の串良の名物詩となっています。

昨年はコロナ禍により大会中止を余儀なくされましたが、今回で64回を迎える大会は2月6日(日)に実施予定です。自慢の健脚を競う伝統のタスキがつかねがれますので、市民の皆さんの温かい応援をよろしくお願いいたします。



岡崎交差点付近のゴールの様子。(昭和51年)

かのやタイムトラベル

冬の名物詩 串良町内一周駅伝

昔、鹿屋で起きた出来事にクローズアップ!